

QUALITY ASSURANCE  
REPORT 2023



# 日本生協連 品質保証レポート2023

2022年度活動報告

## CONTENTS

安全と安心のために …… 2	関連活動 …… 8
ご利用まで …… 4	全国の生協の連携 …… 13
ご利用してから …… 6	

日本生活協同組合連合会

## 2022年度の活動報告にあたり ごあいさつ



くろかみ えいじ  
日本生協連 執行役員 品質保証本部長 **黒神 英司**

2022年度は新型コロナウイルスに伴う行動制限等の解除も徐々に進み、日本生協連 品質保証本部の業務活動においてもようやく以前のようなリアルでの対応が段階的ではありますが再開できた年となりました。

2008年1月に発生した中国製冷凍餃子中毒事件から早くも15年が経過しました。この事件以降、日本生協連では「コープ商品の品質保証再構築計画」を策定し、全国の会員生協と連携して様々な取り組みを進めて参りました。今後は、「連携から連帯へ」というスローガンで更なる協力体制を構築して協議を進めていきます。

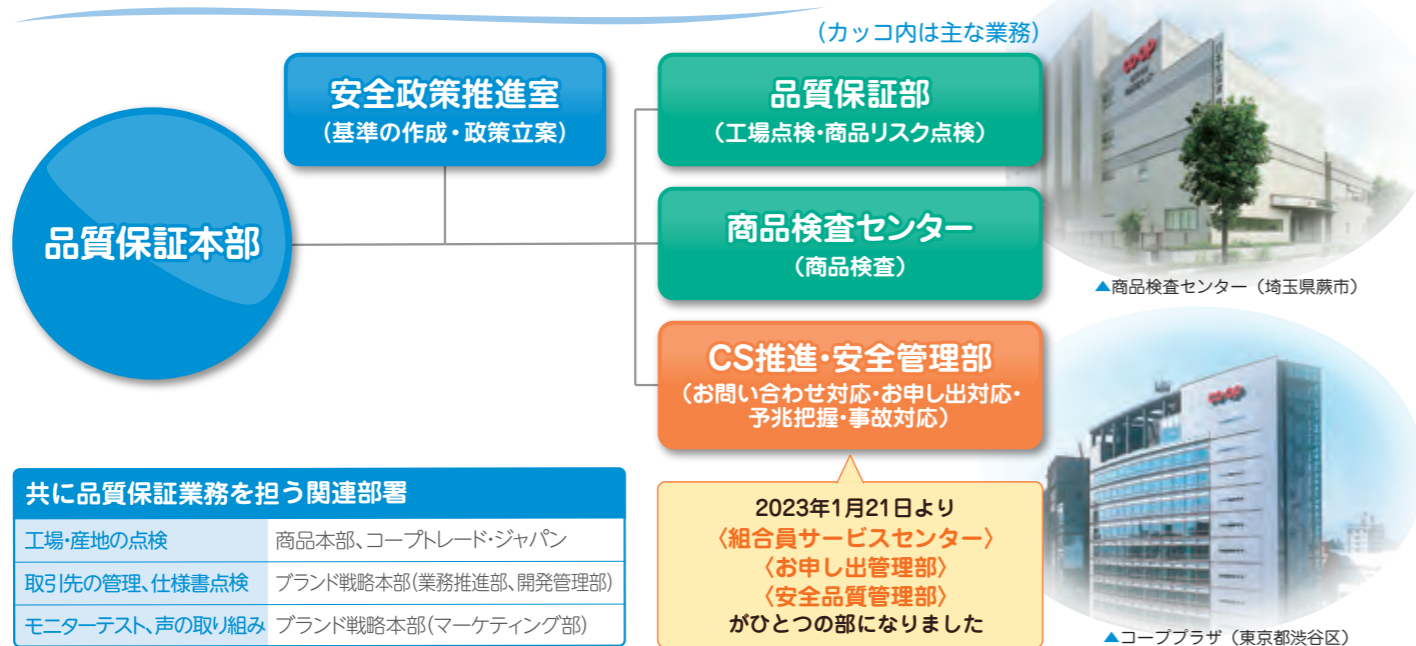
そうした中、CO・OP商品での組合員からのお申し出受付件数も減少傾向となっており、この2022年度は特に件数の多かった2015年との比較において4割以上、件数として9,485件の減少と大きな成果が出ています。

本紙では、そうした取り組みのごく一部ではありますが、ご紹介をさせていただきますのでご確認をお願いいたします。

### 日本生協連とは

日本生協連は各地の生協や生協連合会が加入する全国連合会です。全国の生協の中央会的役割を担うほか、CO・OP商品の開発と会員生協への供給などの事業を行っています。日本生協連が供給するCO・OP商品は2023年4月現在5,687品、製造委託しているお取引先は645社1,360工場です。

### 日本生協連 品質保証本部の体制



## CO・OP商品の品質保証体系



CO・OP商品は、一つひとつの商品について、商品設計から組合員にご利用いただくまで、独自の品質・安全管理の体系に基づいて管理しています。「商品の設計」「原材料の管理」「試作と初回生産」「商品の生産」「組合員のご利用」それぞれにおいて、重要な管理ポイントを設定し、商品設計の評価、原料点検・工場点検・検査などで確認します。

### ご利用してから

▶P6~7をご覧ください

商品へのお問い合わせはパッケージの表示や商品仕様の見直しにつなげ、お申し出はその原因を分析して、商品の品質改善や事故の予防に役立っています。重大な事故の発生時やその予兆がある場合は、全国の生協と連携して対応します。

### 関連活動

▶P8~12をご覧ください

日本生協連の品質保証部門は、CO・OP商品の品質保証を担うだけでなく、全国連合会として生協全体の品質保証についても向き合います。消費者と事業者の両面をもつ組織として、行政の施策や食品安全行政に積極的に関わるなど、幅広く活動しています。



組合員との  
コミュニケーション

商品の安全や品質に関わるさまざまな情報を開示し、疑問や不安にお応えします。

# 商品開発時のリスク点検

## 活動概要

CO・OP商品を開発・リニューアルする際、その商品の安全性や、品質の面で問題となる可能性がある点を様々な角度から特定します。それらについて、関係者との協議・検証を進めながら、商品の発売までに一つひとつ確認しています。商品の安全性や包材の適性はもちろん、においや風味の劣化なども想定して対応します。

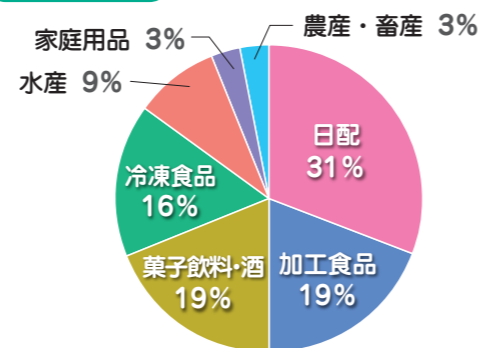


▲(左右)電子レンジで加熱後のピンホールの有無を確認しています。

## 2022年度実績

リスク点検実施数 1,553件

### 商品分類内訳



### 点検の確認ポイント

- ✓ 特定の微生物や化学物質、異物や異臭に対する対策
- ✓ 消費・賞味期限の科学的・合理的な根拠に基づく設定
- ✓ 産地や品種を指定している原料の管理状況や品質は確かか
- ✓ 誤使用などにより思わぬ事故を誘発しないか

# 商品検査

## 活動概要

日本生協連商品検査センターは、1972年の商品試験室設立以来、「組合員、消費者の安心できる暮らし」を実現するため、CO・OP商品の安全と品質を科学的に検証し、商品事業をサポートしています。



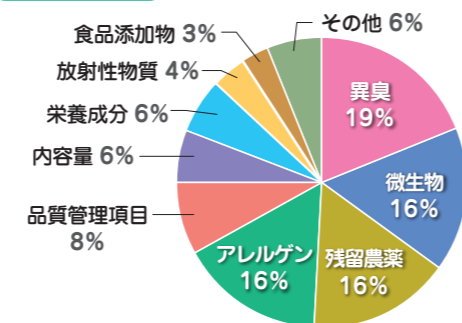
▲商品検査センターでは、52人(2023年4月現在)の職員が検査とその関連業務に携わっています。

## 2022年度実績

### 検査実施数

検査のステージ	検査件数	割合
商品の開発・リニューアル時	3,857	23.2%
商品の供給中	6,149	36.8%
お申し出の発生時	5,834	34.9%
会員生協からの受託	756	4.5%
その他	105	0.6%
検査件数合計	16,701	

### 検査項目内訳



# 工場点検

## 活動概要

CO・OP商品の製造を委託している工場について、目的に応じて品質保証部門と商品部門が協力、分担して点検を実施します。点検で見つかった問題点は工場改善に取り組んでいただき、その結果を確認しています。



▲(左右)工場点検では、生産中の現場で管理状況を確認していきます。

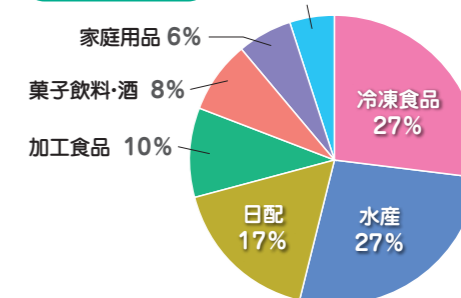
## 2022年度実績

### 工場点検実施数

点検の種類	点検件数	割合
工場選定	168	16.3%
初回生産立会い	269	26.2%
既存商品の製造管理	532	51.8%
原材料・産地※	59	5.7%
点検件数合計	1,028	

※特別管理原材料を含む

### 商品分類内訳



# 原材料管理・原材料点検

CO・OP商品に使用する原材料のうち、産地や品種を指定している商品は、仕様書どおりの原材料を安定して確保できることを確認した上で商品開発を進めます。特に産地や品種にこだわった原材料は「特別管理原材料」として、原材料毎にリスク評価を行い、工場点検、調査票点検などを実施して管理の強化をしています。



▲原材料の産地や品種を指定している商品の例。

## 2022年度実績

点検・確認の種類	件数
工場点検(立ち入り調査)	50
調査票点検	86
調達ルートの確認	996
点検・確認件数合計	1,132

# 輸入品の管理

輸入品は、製造国の状況や新たな食品安全・品質に関わる問題を踏まえて、管理方針を毎年見直し、品質管理の強化に取り組んでいます。

特に日本生協連が直接の輸入者として輸入を行っている商品は、貿易子会社である(株)コープトレード・ジャパン(CTJ)と共に管理を行っています。



▲CTJ職員がイタリアトマトの収穫に立ち会った様子。コープのトマトの缶詰で使用します。



▲海外の取引先とともに臭気トレーニングを実施。

# お問い合わせ対応

## 活動概要

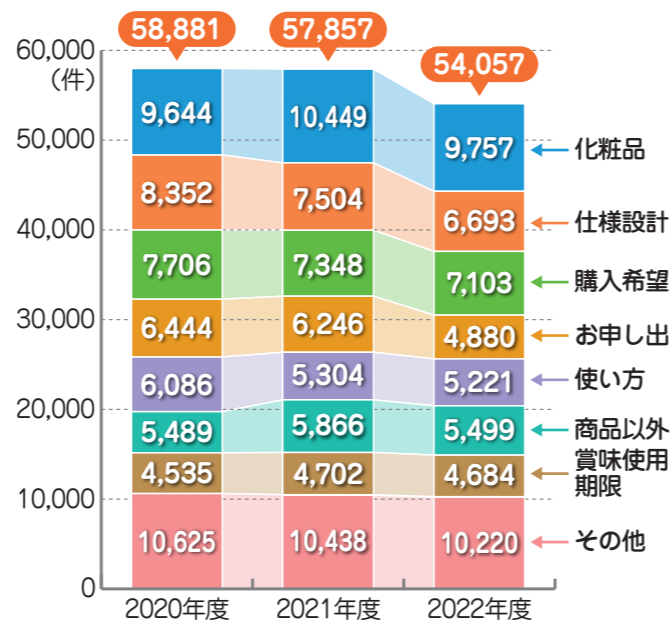
CO・OP商品のパッケージには、組合員サービスセンターの連絡先を明記しており、全国の組合員からの商品に関するお問い合わせを、主に電話で受け付けています。商品の仕様設計や購入に関すること、意見要望など、多岐にわたるお問い合わせをお伺いしています。



▲組合員サービスセンターでは、全国の組合員からの問い合わせに対応しています。

## 2022年度実績

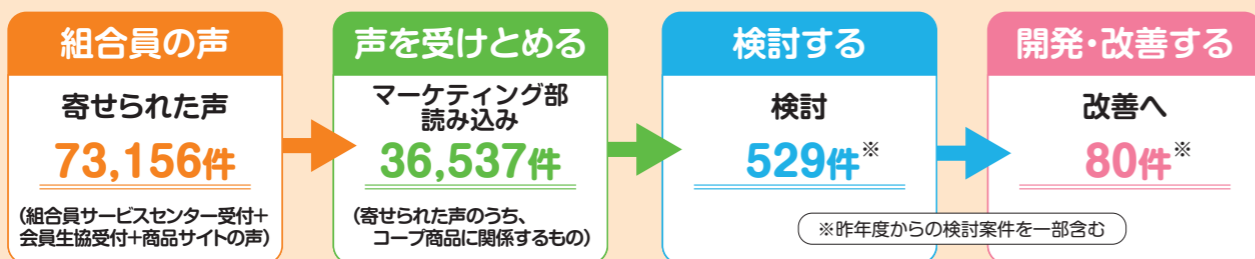
### お問い合わせ対応の件数



## 声からの改善事例

### ◆〈声を活かす取り組み〉2022年度実績

日本生協連へ寄せられた声は、読み込み・検討を経て、改善につなげています。



### 事例 CO・OP かつお削りパック (鹿児島県枕崎製造かつお節使用)



組合員の声 分包パックのきりくちがどこにあるかわかりにくい。

### 2022年12月 リニューアル

分包パックをシンプルなデザインに変更し、きりくちを見つけやすくしました。



# お申し出対応

## 活動概要

商品の不具合・不良のご連絡をいただくことを「お申し出」と呼んでいます。CS推進・安全管理部では、全国の会員生協を通じて、組合員から寄せられるCO・OP商品のお申し出を受け、お取引先に調査・改善を依頼し、結果を会員生協・組合員にお答えしています。



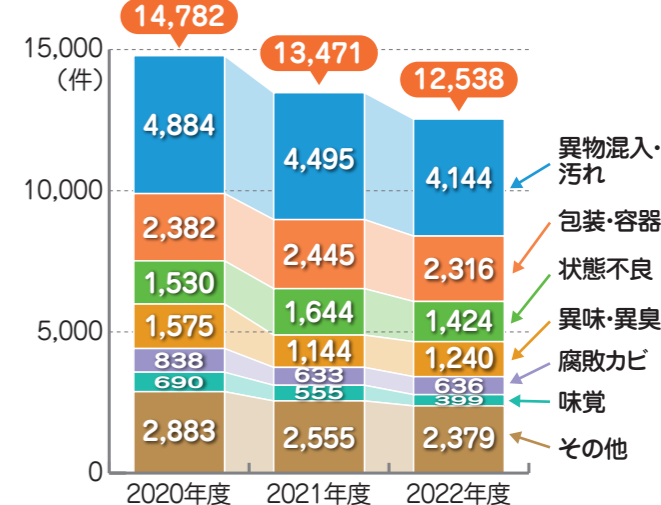
▲必要に応じて、ルーペも使用してお申し出品を確認します。

### POINT!

異味異臭のお申し出品は、商品検査センターとお取引先の両方で調査と検査を行います。それ以外のお申し出も内容・状況にあわせて検査を実施し、原因究明や改善につなげています。

## 2022年度実績

### お申し出対応の件数



### お申し出品検査の実施件数

検査の種類	件数	割合
異臭検査	2,946	50.5%
農薬検査	1,628	27.9%
微生物検査	412	7.1%
その他	848	14.5%

# 予兆の把握、事故対応、原因究明

## 活動概要

過去の商品事故の教訓から、組合員からのお申し出はCS推進・安全管理部が全件を確認し、危害性(人体や物に危害を与える程度)や拡散性(発生の頻度や範囲)を判断しています。重大商品事故発生時には、司令塔となり、徹底した原因の調査や対策の指揮を行います。

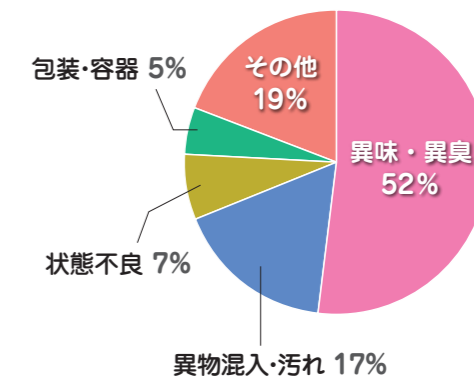


▲受け付けたお申し出品は、CS推進・安全管理部で取り分けて、臭気確認などを行います。あわせて、お取引先や日本生協連商品検査センターに送付し、調査や検査を進めます。

## 2022年度実績

至急の調査をしたお申し出の件数 **2,556件**

### 至急の調査をしたお申し出の内訳




# 安全政策

## 活動概要

日本生協連は政府審議会などへ積極的に関わることで、食品安全行政に意見を反映するとともに、詳しい情報をいち早く入手して検討・評価・対応をし、全国の会員生協に発信しています。消費者と事業者の両方の立場で意見・提案をし、日本の食品行政全体の施策改善に貢献していきます。

## 日本生協連の消費者行政・食品安全に関する政府審議会等への参加状況

2023年4月現在

内閣府		農林水産省	
食品安全委員会	企画等専門調査会	農業資材審議会 飼料分科会	リスク管理検討会
	研究・調査企画会議		
厚生労働省		薬剤耐性リスク管理検討会	
薬事・食品衛生審議会	食品衛生分科会	安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュラトリーサイエンス研究推進委託事業のうち課題解決型プロジェクト研究運営委員会	
	食品衛生分科会添加物部会	国際植物防疫条約に関する国内連絡会	
	食品衛生分科会食品規格部会	環境省	
	食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会	化学物質ファクトシート作成委員会	
薬事分科会動物用医薬品等部会	<b>▶ 国際会議への参加</b> コーデックス委員会(国際食品規格(基準)を策定する委員会)に参加し、国際的な関心事項や各国の意見などを情報収集し、日本生協連の安全政策の参考にしています。		
食品安全制度懇談会			
食品衛生管理に関する技術検討会			
食品の営業規制の平準化に関する検討会			
食品衛生法改正事項実態把握等事業実施団体選定審査委員会			

## 日本生協連から行政機関に提出した食品安全・食品表示・消費者行政(食品分野)に関する意見書・要望書

行政機関が政策の立案などを行う際には、その案を公表して広く意見募集を行い、提出された意見を考慮して最終的な意思決定を行います(パブリックコメント制度)。日本生協連は、食品に関する行政の制度をより良くするため、関連省庁が実施している意見募集に対して積極的に意見を提出しています。 2022年3月21日~2023年3月20日

提出先	提出日	意見書タイトル
内閣府食品安全委員会	2023年2月27日	「ポリビニルアルコールに係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)」について
	2023年3月7日	「2023年度(令和5年度)食品安全委員会運営計画(案)」に対する意見
厚生労働省	2022年9月12日	第10版食品添加物公定書の作成のための「食品、添加物等の規格基準」の改正に係る意見
	2023年2月13日	2023年度(令和5年度)輸入食品監視指導計画(案)に対する意見
消費者庁	2022年11月7日	食品表示基準の一部改正案に関する意見

詳しくは日本生協連ホームページの「日本生協連からのお知らせ・ニュースリリース」内「政策提言」のページをご覧ください。URL <https://jccu.coop/info/suggestion/>

日本生協連 政策提言

# CO・OP商品の品質改善活動

## 活動概要

発売中の商品は、製造工場の定期的な点検や年次の管理状況調査、お申し出状況などを随時確認し、お申し出件数の削減や、大きな事故の未然防止のために品質改善を行います。

引き続き、安全・安心なCO・OP商品をお届けするために取り組みを続けていきます。



▲レビュー会議の様子。発生事象や取り組み内容を報告するとともに、組織横断的な課題についての議論などを行っています。

### ◆ 改善活動のフロー ◆

- STEP1 品質保証本部内での課題抽出
- STEP2 商品部、お取引先と協力し改善課題に取り組む
- STEP3 改善した内容の有効性について確認、評価
- STEP4 常務、本部長参加のレビュー会議で組織的に取り組み内容を確認

## 改善事例

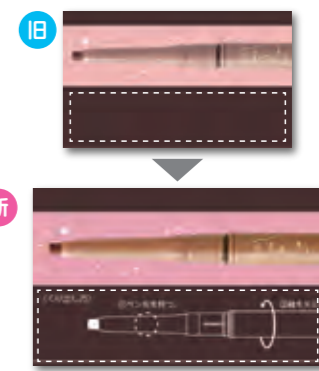
◆2022年度の実際の改善事例をご紹介します◆

### お問い合わせから表示を改善した事例

#### 【ルラン ジェルライナー】

使用方法(芯の出し方)が分からない、というお問い合わせがありました。包材の裏面で使用方法はご案内していたものの、芯の出し方については記載がありませんでした。そのため包材にキャップの開け方と芯の出し方を追記し、合わせてイラストで表現することにしました。

※2023年秋以降、順次対応後の包材へ切り替えていきます。



### お申し出から表示を改善した事例

#### 【はっさくで作ったドライフルーツ】

透明で細長いプラスチックのような硬さの異物が混入していた、というお申し出がありました。

調査の結果、異物はプラスチックではなく、はっさくの「じょうのう膜(果実を包む薄皮)」であることが分かりました。

商品の特性上、「じょうのう膜」を完全に取除くことは困難であるため、包材に「じょうのう膜」について注意表示を行いました。

### お申し出品調査結果

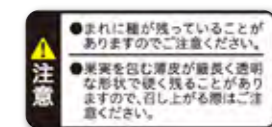
#### お申し出品



#### 参考画像



▲パッケージ



▲注意喚起表示

## ◆ 活動事例の紹介 ◆

## きらきらステップ 安全・安心への取り組み

子育て中の組合員を応援したい...そんな思いから2017年に生まれた「きらきらステップ」シリーズ。これまでに発売された商品での品質確認の取り組みを紹介します。商品の安全・安心をいろいろな角度から確認しています。



## I 製造工場での品質管理

衛生面を含めて管理が整っている工場であることはもちろんのこと、乳幼児に供給する食品ということから、商品仕様や製造工程をリスク分析（アレルギー物質、病原性細菌、異物、物性など）して対策や管理を実施しています。

## 例① CO・OP 国産大豆と角切り野菜入りトマトコンソメソース

角切り野菜はゆであがり時に、柔らかくてそれでいてつぶれすぎない硬さであるかを確認しています。



## 例② CO・OP 5種の国産野菜のミニハンバーグ（ひじき入り）

国産鶏ひき肉の異物除去対策として、ミートチョッパーに使う部品（メッシュ）は通常より目の細かいものを採用しています。



## I 開発時の製造工程の検討

## 例 CO・OP 国産若鶏のスティックナゲット

国産若鶏のスティックナゲットの開発時には、原料鶏肉の骨片などの固い部分が商品に混入しないように、原料加工時に取り除くための方法について取引先と検討し、実際に取り除けているか確認を行いました。



## I 使い方・調理例（パッケージでの情報提供内容）の点検

商品に表示しているご利用方法や調理例などを点検します。実際に、調理テストを行い、問題ないことを確認します。



▲電子レンジでの調理テスト

## I 検査での品質確認

発売後は、通常のCO・OP商品と同様、衛生管理項目についてはその商品のリスクに応じて検査項目を設定し、定期的に検査を行っています。

アレルギー物質検査、放射性物質検査については、一般の商品よりも検査頻度を高めて、品質面の管理を強化しています。



▲アレルギー物質検査



▲放射性物質検査

## ◆ 活動事例の紹介 ◆

## 包材変更の取り組み

コープ商品は、使い捨てプラスチック容器包装の削減を目指し、商品の包材に使うプラスチックの使用量削減、繰り返し使用できる容器包装の使用、再資源化、植物由来素材の使用などに取り組んでいます。

包材の変更にあたっては、品質管理の視点でも、内容物の安全性や、保存性に問題がないかなど、必要な確認を行って変更を進めています。

こちらでもチェック！



二次元コードからアクセス！

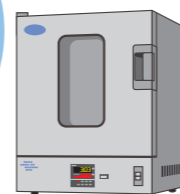


## I 品質管理・安全面でのチェックポイント

- ① これまでもCO・OP商品や製造委託先の商品で使ったことがある包材か？
- ② 包材を変えることにより、中身の保存性に影響はないか？
- ③ 輸送中に破れたり欠けたりしないか？

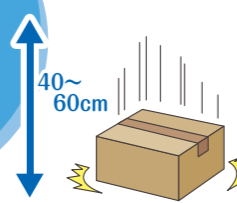
これらを確認した上で、必要な場合は、サンプルや実際の商品での検証試験を行います。

## 保存試験



変更後の包材で製造した商品サンプルで、設定した賞味期限まで品質が保持されるかを確認します。

## 落下試験



商品を一定の高さから落下させて、包材が破れないか、内容物が壊れないかなどを調べます。

## 輸送試験



実際に配送トラックに積んで輸送し、配送中の揺れなどで内容物に影響がないか確認します。

## I 2022年度の取り組み事例

## 事例① CO・OP 烏龍茶／CO・OP 緑茶／CO・OP おいしい水 など

## ◆ ペットボトルを軽量化しました

ハルナプロデュース株式会社製造の飲料9品目のペットボトルを軽量化。2Lボトルは約2g（「おいしい水（谷川山系）」）は約13.5g、525mlボトルは約4g削減します。年間のプラスチック削減量は約273トン※になります。※2021年8月度～2022年7月度の供給実績より試算



※烏龍茶、緑茶は北海道内工場生産分を除く

## 事例② CO・OP ふっくら卵のオムライス（2食入）

## ◆ 外袋を省きました

2食入の場合、ポリ袋に入っていましたが、帯シールで巻く形態に変更しました。年間で約19.3トン※のプラスチックを削減できます。※2021年3月～2022年2月の販売実績より試算



# 全国の生協の連携

## 日本生協連と会員生協の連携した品質保証活動

日本生協連と全国の生協は、連携して商品の安全・安心を守る品質保証活動に取り組んでいます。2022年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、地域間の往来などが制限されてしまいましたが、行政の政策に対する検討、お申し出対応を含め品質保証に関わることなど、様々な課題についての取り組みを進めました。

### 安全・品質協議会

組合員が期待していることの実現を図り、全国の生協の連帯を促進する立場から、商品の安全性、表示に係る事項、行政の政策に対する検討、お申し出対応などの品質保証に係る事項、組合員からのお問い合わせや、その他の事項についての検討・協議をしています。また、業務プロセスの標準化や専門的な力量をもった人材の育成等の課題への対応を通じ、CO・OP商品および各生協で取り扱う商品の安全・品質等の発展に資することを目的として全国12の生協が議論しています。

### ○全国連帯のあり方についての議論

「全国連帯のあり方」について全国の生協の品質保証部門で集中的な議論を行い、「10年後に目指す姿」と「行動指針」を定め、「2・3年後にありたい姿」と「取り組む優先課題」をビジョンとしてとりまとめました。ビジョン達成に向けて、「次世代の人材育成」と「統一した広報・リテラシーにつながる活動」を推進するワーキンググループ（以下、WG）を設置して検討を始めています。

#### 全国生協における品質保証の「目指す姿」（10年後）

- ◆ 組合員の生活向上のため、商品の安全について継続的に牽引する存在

#### 目指す姿を実現するための「行動指針」

- ◆ 全国で統一した生協の業務品質・正確でわかりやすい情報提供・「ひとつの生協」として限りある経営資源の有効活用

#### 全国生協が共通して「到達したい重点目標」（2・3年後のありたい姿）

- ◆ **食品安全** 全国生協の「品質保証」・「検査」のあり方の整理、地域連帯論議の進展
- ◆ **人材育成** 品質保証分野の人材を全国で育て、支える仕組み整備
- ◆ **リテラシー** 組合員に分かりやすくスマートな情報提供、職員の理解向上に向けて、全国のツール・情報を活用  
統一した広報活動

#### 取り組む優先課題

- ◆ 「検査の目的と体制整理」 ◆ 「次世代の人材育成」 ◆ 「統一した広報・リテラシーにつながる活動」

#### 「次世代の人材育成」WG (22年11月WGスタート)

##### 検討事項

- 1 品質保証分野の新任教育
- 2 担当者交流会の充実・整理
- 3 長期的な人材育成のあり方の検討



#### 「広報・リテラシー」WG (23年3月WGスタート)

##### 検討事項

- 1 全国の生協が作成したコンテンツを共有・活用できる場づくり
- 2 活動の事例交流
- 3 評価、フィードバックによる内容のブラッシュアップ



# その他の関連活動

## Check! 商品なるほどシートの追加作成・更新を実施

商品の特性や使用時のポイントなどをまとめた「商品なるほどシート」を2022年度は新たに5シートを作成し、既存の4シートをリニューアルしました。

現在66シートあり、広報誌やホームページ、日本生協連公式Twitterでの情報提供や、学習資料およびお申し出の事例回答として利用するなど、全国の生協で活用されています。



▲新規作成したシートのひとつです。フルーツ缶の内側の変色について解説しています。



日本生協連の公式Twitterは、なるほどシートだけでなく、CO・OP商品やレシピ、日本生協連からのお知らせもお届けします。

日本生協連 公式Twitter 二次元コード



## Check! みやぎ生協・コープふくしまの組合員親子とオンライン交流イベントを開催しました

「家庭の食事からの放射性物質摂取量調査」の縁で、例年、春休みに親子で参加できるイベントを共催してきました。2022年度は、オンライン企画として、CO・OP商品の安心・安全をテーマに「ミックスキャロットができるまで」の動画を一緒に観たり、検査センターの仕事をクイズを交えながら紹介しました。

また、異臭検査の担当のトレーニングに使うにおいサンプルを会場に送って、「においかぎ検査体験」を実施し、ご好評をいただきました。2023年度も、ファミリーチョコレートをテーマに開催する予定です。



▲「においかぎ検査体験」では、5つのにおいかぎ分けをもらいました。

## Check! 品質保証評価委員会

「品質保証評価委員会」は、日本生協連統括専務の諮問委員会として外部有識者、会員生協の役職員をもって構成され、日本生協連の品質保証活動全般についての評価および食品安全をめぐる情勢や動向について、意見交換を行うことを目的として年に1回開催しています。

今年度の品質保証評価委員会では、「日本生協連の品質保証活動」、「全国の生協との連携」、「CO・OP商品の品質保証再構築設定後から現在に至るまでの流れと到達点など」についての評価および意見交換を行いました。

## Check! お取引先とともに ～第31回 品質管理研究交流会～

日本生協連のお取引先による自主団体である「日本生協連虹の会」の品質管理研究会（事務局は日本生協連品質保証部）は、2023年2月17日に「第31回 品質管理研究交流会」をオンライン配信形式で開催しました。

今回の交流会では2つのテーマ「テーマ1 アレルゲン管理」「テーマ2 景品表示法と薬機法」から関心のあるテーマを選択して参加いただくとともに、アーカイブ配信（期間：2月17日～3月3日）を行いました。引き続き、生協とお取引先各社にとって、有意義な学習交流の場となるよう活動していきます。

▶ 全国品質管理交流会

2022年度は、これまで「全国品質管理交流会」として開催していた4つの交流会（「商品検査」「工場・店舗点検」「お申し出管理」「家庭用品」）を、「安全・品質協議会」の中の取り組みとして再編しました。これにより、検査の技術研修会、小規模交流会といった業務の標準化や人材育成を目的とした交流会なども開催しました。年間で、29回の交流会や学習会を開催し、品質管理の各業務について学ぶとともに、全国の生協間の情報交流を深めました。

◆ 工場点検分科会

2023年3月9日付けで、食物アレルギーの義務表示品目に「くるみ」が追加されることを受け、アレルギーの品質管理について学習および情報交流を行いました。また、グループワークでは過去のアレルギー混入事故事例に基づいて、製造工程図を用いながら、アレルギー混入リスクについてディスカッションを行いました。あわせて「アレルギー混入」を想定した事故対応のケーススタディも実施し、より実践に近い状況で交流を行いました。



▲使用した教材の一例。

◆ 店舗点検分科会

店舗におけるラベル・表示管理や衛生管理の取り組みについてホストとなった会員生協からご紹介いただき、実際に会員生協の店舗のバックヤードを見学しながら情報交流を行いました。また、ラベル・表示管理や店舗の衛生管理も含め、現在、各生協で「課題に感じていること」についても交流し、事例を共有することで、今後の業務につなげられる気づきを得ることができました。



▲店舗バックヤード見学の様子。



▲見学後は、参考になった点などについて交流を実施しました。

▶ 2022年度の実績

商品検査	161,377件	日本生協連は主にCO-OP商品の検査を、全国の会員生協は各生協で取り扱うナショナルブランド(NB)商品、会員生協のプライベートブランド(PB)商品、産直・生鮮品、店舗で調理する惣菜などの検査を実施しています。
工場点検	1,791件	日本生協連は、CO-OP商品の製造工場の点検を実施しています。全国の会員生協は、各生協で取り扱うNB商品、会員生協PB商品などの製造工場について必要に応じて点検を行っています。
店舗点検	1,790件	全国の生協では、店舗のバックヤードの衛生点検、冷凍庫・冷蔵庫・陳列棚の品温点検、従業員の手洗いや器具の清掃・保管方法などの衛生指導を実施しています。
お申し出受付	122,451件	日本生協連では、全国の生協と連携して組合員から寄せられるCO-OP商品についてのお問合わせ・お申し出に対応しています。全国の生協では、各生協のPB商品やNB商品などのお申し出にも対応しています。

※全国の生協の品質保証活動実績数値は、以下の生協・事業連合の実績を合わせたものです。  
 コープさっぽろ/コープ東北/コープデリ連合会/東都生協/ユーコープ/バルシステム連合会/東海コープ/トヨタ生協/コープ北陸/コープきんぎ/コープこうべ/コープCSネット/コープ九州/日本生協連

ユーコープ 表示間違いをなくすための取り組み

ユーコープの一部店舗では、バックヤードで製造する総菜等の商品について、表示間違い（特にラベルの貼り間違い）防止の観点から、ラベル発行工程においてスキャナーを用いたカンバン方式の導入を開始しています。製造する商品ごとに「生産マニュアル」(カンバン)があり、このマニュアルには商品名・品番・盛り付け写真などの商品情報に加え、新たにラベル発行用のバーコードを貼付しています。ラベル発行までの流れとして、まず製造担当者がラベル発行担当者へパック詰めされた商品とマニュアルをセットで渡します。次にラベル発行担当者は実際の商品がマニュアルの写真と合致していることを確認し、マニュアルに記載されたラベル発行用バーコードをラベル発行機でスキャンし、商品ラベルを発行しています。極力、手作業を省略し、ヒューマンエラーを発生させない仕組みとなっています。



▲ラベル発行担当者が実際の商品とマニュアルの写真が合致しているか確認します。



▲マニュアルに記載されたラベル発行用バーコードをラベル発行機でスキャンします。

コープ北陸 食品安全コミュニケーター育成講座を開催!

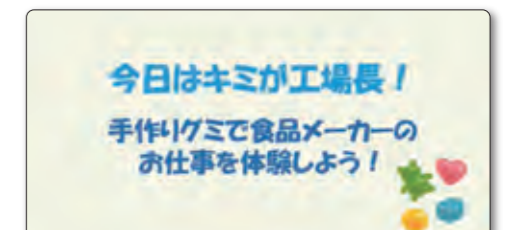
コープ北陸では、2022年7月に消費者庁・石川県と共催で食品安全コミュニケーター育成講座を開講しました。この講座は、1年間（全6回）で「食品安全」を学び、正しい情報をみなさんにお伝えすることができる人材を育成することを目的としています。第1回は「食品安全行政のしくみ」と「食品中化学物質のリスク評価について」を学習し、その後のグループワークで「食品の安全とは」「食品の基準について」「農業や添加物のイメージ」について意見交換を行いました。



▲(左右)受講の様子(コロナ禍のためリモートで開催)。

東海コープ 夏休み親子 実験教室 「今日はキミが工場長! 手作りグミで食品メーカーのお仕事を体験しよう!」を開催!

東海コープでは、夏休みに動画配信とオンラインで実験教室を開催しました。自宅のキッチンを工場に見立てて、グミ作りを楽しみながら、製造工場での衛生管理やパッケージに記載される表示などについて親子で学習いただきました。「娘が食品表示に興味を持ちました」「作り手になれる貴重な体験ができました」など嬉しい声をいただきました。



▲実験教室の資料(表紙)より。



# 日本生協連ホームページのご案内

LET'S ACCESS!

## 日本生協連 コーポレートサイト

URL <https://jccu.coop/>

日本生協連全体のホームページ。日本生協連が提出したパブリックコメント等の意見書や食品の安全に関するQ&Aもご紹介しています。

## 日本生協連 コープ商品サイト

URL <https://goods.jccu.coop/>

CO-OP商品のホームページ。お問合わせを受けて改善した事例や商品のQ&A、商品検査センターについて紹介しているほか、各商品の詳細情報が調べられる検索ページもあります。



## 品質保証レポート、関連コンテンツのご紹介

2022年11月  
リニューアル

### コーポレートサイト 安全と安心の取り組み



二次元コードから  
アクセス!



スマホでも  
見やすくなりました

### 食品の安全に関するQ&A



二次元コードから  
アクセス!



P.3

### コープ商品サイト 品質を支える仕組み



二次元コードから  
アクセス!



P.4など

### 商品検査センター



二次元コードから  
アクセス!



P.6

### コープ商品のQ&A



二次元コードから  
アクセス!



P.8

### 政策提言 (意見書等)



二次元コードから  
アクセス!



作成協力  
生協

コープさっぽろ／コープ東北／みやぎ生協・コープふくしま／コープデリ連合会／東都生協／ユーコープ／パルシステム連合会／東海コープ／トヨタ生協／コープ北陸／コープきんき／コープこうべ／コープCSネット／コープ九州

発行日：2023年6月 発行：日本生活協同組合連合会